

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和 8年 6月 3日 第6号
発行 校長 村上謙一

【チーム担任制のニュースから】

令和8年度から、静岡市は市内全ての市立小学校にチーム担任制を導入しました。静岡市ではこれを「フレキシブル担任制」と呼んでいます。静岡市教育委員会の説明によると、「教員においても、当初は自分の学級がなくなることへの寂しさを感じる声がありましたが、現在では複数の教員が関わることで、より多角的な視点から子どもたちと向き合えるようになったという実感が広がっています。…」とのこと。

また、横浜市でも市内全小学校で同様の取組を始めているとのこと。こちらも子供



の多角的な見取りによる児童理解や教材研究の充実、新人教員のサポートと業務負担軽減に効果をあげているとのこと。

これまでもお伝えの通り、富山県なんと南砺市や兵庫県神戸市、京都市(各校毎の選択方式)などはすでに採用から数年が経過しており、全国的な広がりや加速しているようです。一西小のチーム担任制は、学級づくりを子どもの手に返して、子どもたちの主体性を奪わず、当事者意識を育もうとしています。そのために先進校とも情報交換をして、「子どもの声」を大切にしたい取組を続けています。直近のアンケート調査(R8年4月)では、84%の児童が、チーム担任制について「楽しみ」「とても楽しみ」と回答しています。

教職員がもつ担任のイメージについても、これからは、「私が育てる」(先生主語)から、「子どもが育つ」(子ども主語)のために私がいるという感覚に変えていくのだろうと思います。

【登下校の様子から】

通学班の班長さん、副班長さんを務めてくれているリーダーたちがすばらしい姿を見せてくれています。

登校中、班長さんの手にぎってくる1年生がいます。班長さんはその子の手を、車道から遠い方に



立てるようににぎりなおします。そんなやりとりをしつつ、歩くスピードが速すぎたり、ゆっくりすぎる子にもやさしく声をかけて、班の列が伸びすぎないようにしてくれます。

一斉下校中、1年生が線路につまずいて転んでしまいました。少しするとひざから血がにじんできました。班長さんはすかさず自分のランドセルから絆創膏を取り出して、その子のひざに6枚くらいはってあげました。はってもらっているうちに、1年生はニコニコになって、「ありがとう」とお礼を伝えました。班長さんは当たり前のことをしてだけという表情でやさしくほほえみました。

【運動会】



5月30日(土)、大勢の来賓、保護者の皆様にお越しいただき、にぎやかに運動会を開催することができました。温かいご声援、ありがとうございました。

